



平成29年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年2月13日

上場会社名 ダイコク電機株式会社 上場取引所 東・名  
 コード番号 6430 URL <http://www.daikoku.co.jp/>  
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 栢森 秀行  
 問合せ先責任者(役職名) 取締役管理統括部長 (氏名) 栢森 啓 (TEL) 052-581-7111  
 四半期報告書提出予定日 平成29年2月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第3四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第3四半期	33,396	△14.2	1,751	13.2	1,889	14.1	1,216	92.2
28年3月期第3四半期	38,931	△12.8	1,546	△63.4	1,656	△61.6	632	△77.0

(注) 包括利益 29年3月期第3四半期 1,273百万円(97.7%) 28年3月期第3四半期 644百万円(△76.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第3四半期	82.26	—
28年3月期第3四半期	42.81	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第3四半期	48,949	29,825	60.9
28年3月期	47,139	29,291	62.1

(参考) 自己資本 29年3月期第3四半期 29,825百万円 28年3月期 29,291百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	10.00	—	40.00	50.00
29年3月期	—	10.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	40.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	41,000	△12.8	300	—	500	—	200	—	13.53

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 連結業績予想の修正については、本日(平成29年2月13日)に公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年3月期3Q	14,783,900株	28年3月期	14,783,900株
② 期末自己株式数	29年3月期3Q	722株	28年3月期	628株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年3月期3Q	14,783,230株	28年3月期3Q	14,783,272株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表レビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

なお、業績予想に関しては、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(4) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境に改善が続くなか、緩やかな回復基調で推移しましたが、中国経済の下振れや米国の新政権の政策動向に対する懸念など、景気は依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社グループが携わるパチンコ業界におきましては、平成28年12月末を期限とした「検定機と性能が異なる可能性のあるぱちんこ遊技機」の回収・撤去や新基準パチスロ遊技機の稼働不振など、引き続き厳しい市場環境となりました。

このような市場環境のなか、情報システム事業におきましては、新型情報公開端末「REVOLA」での遊技空間の演出や、付加価値の高いデータ分析が可能となる顔認証カメラ付きCRユニット「VEGASIA」、パチンコファンへ新しい遊技スタイルを提供する「DK Wi-Fiサービス」（平成28年10月リリース）などの提案を行ないましたが、周辺機器への投資に対しては総じて消極的な年末商戦となりました。

制御システム事業におきましては、企画力の強化による遊技性での差別化の提案と、開発期間短縮によるコスト削減を目的とした開発工程の見直しに引き続き取り組みました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高333億96百万円（前年同期比14.2%減）、営業利益17億51百万円（同13.2%増）、経常利益18億89百万円（同14.1%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益12億16百万円（同92.2%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

#### (情報システム事業)

当事業の第3四半期連結累計期間は、パチンコホール経営企業が日々の営業戦略の策定に活用する分析ツール「CII-SISサービス」を中心とした会費制サービス（MGサービス）の加盟店舗数及び、新製品である新型情報公開端末「REVOLA」の販売は順調に推移しましたが、新店及び改装店舗数が大幅に減少するなか、主要製品の販売台数は全体的に前年同期に比べ減少しました。

この結果、当事業の売上高は225億20百万円（前年同期比19.2%減）、セグメント利益は32億2百万円（同8.1%減）となりました。

#### (制御システム事業)

当事業の第3四半期連結累計期間は、パチンコ遊技機の型式試験の結果書交付までに時間を要している状況が継続しており、当社と取引のあるパチンコ遊技機メーカーにおいて販売計画の見直しが行なわれ、複数機種が来期以降にずれ込んだため、表示ユニット及び周辺部品の販売台数が前年同期に比べ大幅に減少しました。

また、平成28年11月に市場投入した「パチスロ ウィッチクラフトワークス」は、新基準パチスロ遊技機の稼働不振の影響により、約3,500台の市場投入に留まりましたが、パチンコホールでの稼働においては比較的好調に推移しました。

パチスロ遊技機の販売は、平成28年4月リリースの「探偵歌劇 ミルキィホームズ TD 消えた7と奇跡の歌」（8,800台を市場投入）との2機種となり、前年同期に比べ大幅に増加しました。

この結果、当事業の売上高は109億23百万円（前年同期比1.4%減）、セグメント損失は1億14百万円（前期セグメント損失6億49百万円）となりました。

(注) セグメントの業績の金額には、セグメント間取引が含まれております。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、スロット販売によるたな卸資産の減少や税金等の還付による未収入金の減少、遊休資産の売却等により固定資産の減少がありましたが、現金及び預金や売上債権が大きく増加したことにより、前連結会計年度末に比べ18億9百万円増加の489億49百万円となりました。

当第3四半期連結会計期間末の負債は、短期借入金の返済や前連結会計年度末に比べ当第3四半期末の研究開発費に関する未払金の減少がありましたが、仕入債務や前受金が増加したことにより、前連結会計年度末に比べ12億75百万円増加の191億23百万円となりました。

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、配当金の支払がありましたが、利益の計上額が上回ったことにより、前連結会計年度末に比べ5億34百万円増加の298億25百万円となり、自己資本比率は60.9%（前連結会計年度末比1.2ポイント下降）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年3月期の通期の業績予想につきましては、平成28年5月13日発表の業績予想を変更しております。詳細につきましては、本日（平成29年2月13日）発表しております「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。なお、業績等に影響を与える事業等のリスクについては、最近の有価証券報告書（平成28年6月29日提出）により開示を行った内容から重要な変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、この変更による当第3四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表に与える影響は軽微であります。

(4) 追加情報

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	9,358,508	12,300,122
受取手形及び売掛金	7,301,287	9,529,492
電子記録債権	2,145,651	1,919,259
商品及び製品	6,451,710	4,912,110
仕掛品	2,090	100,847
原材料及び貯蔵品	2,478,820	1,892,338
繰延税金資産	542,784	464,578
その他	1,377,491	774,296
貸倒引当金	△76,016	△74,765
流動資産合計	29,582,326	31,818,281
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,644,056	4,459,548
土地	4,306,117	4,162,117
その他(純額)	1,299,711	1,263,515
有形固定資産合計	10,249,885	9,885,181
無形固定資産		
ソフトウェア	2,674,629	2,899,456
その他	36,117	35,273
無形固定資産合計	2,710,746	2,934,729
投資その他の資産		
繰延税金資産	1,668,090	1,374,947
投資不動産(純額)	944,926	949,884
その他	2,651,638	2,633,859
貸倒引当金	△667,715	△647,519
投資その他の資産合計	4,596,940	4,311,171
固定資産合計	17,557,572	17,131,082
資産合計	47,139,899	48,949,363

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,628,271	2,953,343
電子記録債務	4,151,943	7,785,001
短期借入金	5,500,000	3,300,000
未払法人税等	29,443	350,135
役員賞与引当金	70,250	63,060
株主優待引当金	18,087	46,368
その他	4,278,720	3,435,701
流動負債合計	16,676,717	17,933,609
固定負債		
役員退職慰労引当金	428,987	450,863
退職給付に係る負債	564,960	534,637
その他	177,890	204,801
固定負債合計	1,171,838	1,190,302
負債合計	17,848,556	19,123,911
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	674,000	674,000
資本剰余金	680,008	680,008
利益剰余金	28,207,430	28,684,354
自己株式	△1,237	△1,392
株主資本合計	29,560,201	30,036,970
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	13,218	38,708
繰延ヘッジ損益	—	487
退職給付に係る調整累計額	△282,076	△250,714
その他の包括利益累計額合計	△268,858	△211,518
純資産合計	29,291,342	29,825,452
負債純資産合計	47,139,899	48,949,363



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
売上高	38,931,435	33,396,317
売上原価	27,223,072	21,806,459
売上総利益	11,708,363	11,589,858
延払販売未実現利益戻入	9,057	—
差引売上総利益	11,717,421	11,589,858
販売費及び一般管理費	10,171,090	9,838,722
営業利益	1,546,330	1,751,135
営業外収益		
受取利息	11,034	3,926
受取配当金	8,963	8,953
不動産賃貸料	59,854	62,177
その他	73,014	118,847
営業外収益合計	152,867	193,904
営業外費用		
支払利息	4,588	11,574
不動産賃貸費用	37,470	43,539
その他	884	540
営業外費用合計	42,944	55,653
経常利益	1,656,253	1,889,386
特別利益		
固定資産売却益	1,274	59,000
特別利益合計	1,274	59,000
特別損失		
固定資産売却損	—	27,000
固定資産除却損	10,188	19,116
減損損失	10,873	—
投資有価証券評価損	10,000	44,902
貸倒引当金繰入額	238,500	—
特別損失合計	269,561	91,019
税金等調整前四半期純利益	1,387,966	1,857,366
法人税、住民税及び事業税	183,058	295,096
法人税等調整額	572,109	346,183
法人税等合計	755,168	641,279
四半期純利益	632,798	1,216,087
親会社株主に帰属する四半期純利益	632,798	1,216,087

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
四半期純利益	632,798	1,216,087
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△324	25,490
繰延ヘッジ損益	—	487
退職給付に係る調整額	11,721	31,361
その他の包括利益合計	11,396	57,339
四半期包括利益	644,194	1,273,427
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	644,194	1,273,427

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	情報システム事業	制御システム事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	27,882,337	11,049,098	38,931,435	—	38,931,435
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	26,910	26,910	△26,910	—
計	27,882,337	11,076,008	38,958,345	△26,910	38,931,435
セグメント利益	3,484,814	△649,762	2,835,052	△1,288,722	1,546,330

(注) 1 セグメント利益の調整額△1,288,722千円には、セグメント間取引消去△17,597千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,271,124千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	情報システム事業	制御システム事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	22,520,338	10,875,979	33,396,317	—	33,396,317
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	47,545	47,545	△47,545	—
計	22,520,338	10,923,524	33,443,862	△47,545	33,396,317
セグメント利益	3,202,742	△114,342	3,088,399	△1,337,264	1,751,135

(注) 1 セグメント利益の調整額△1,337,264千円には、セグメント間取引消去△3,555千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,333,708千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。